



朝日町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動の影響により、世界中で甚大な自然災害が頻発しています。国内においても、大型の台風や豪雨による被害が多発しているほか、夏季には酷暑が連日続くなど、これまでに経験したことのないような異常気象に見舞われており、住民生活にも大きな影響が及んでいます。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2°C未満とし、可能な限り1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。その後2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、「気温上昇2°Cより低い1.5°Cに抑えるためには2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされ、政府は2020年10月カーボンニュートラルを表明し、脱炭素社会の実現に向けた政策を強力に推進する方針を打ち出しました。いま私達には、この目標達成に向けた社会全体での取り組みが求められています。

地球温暖化が原因とされる気候変動は、海拔0mから3,000mまで海・山・川と大自然を有する朝日町にとっても深刻な脅威であり、これまで先人が育んできたかけがえのないふるさと朝日町をこれからも守り継承していくためにも、気候変動に対するアクションを起こしていくことが必要です。

私たちは、先人から受け継いできたこのふるさと朝日町に誇りと責任を持ち、将来世代に夢と希望に溢れ、町民一人ひとりが輝ける社会、そして何よりも持続可能な社会を継承していくためにも、町民をはじめ事業者、行政が一体となって「オール朝日町」で地球温暖化対策に取り組み2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することをここに宣言いたします。



令和4年6月14日

朝日町長

近原啓直

朝日町議会議長

西岡良則